

平成 28 年度第 1 回砂川市地域公共交通会議での課題等

1. 予約について

- 当日予約ができないか
- 予約時間の延長ができないか
- 予約システムの導入を検討できないか

○事務局の考え

予約については、当日の 8 時から 10 時までであれば、12 時以降の便が利用できるよう改善する。現状では、この変更が限界である。

予約システムについては、導入できた場合、当日 1 便からの利用や予約時間の延長が可能となるかもしれないため、予約システムが導入できるか、引き続き検討させていただきたい。

2. 運行便数・時刻について

- 運行便数を増便できないか
- 運行時刻を変更できないか

○事務局の考え

砂川市予約型乗合タクシーが本格運行を始めたのは、平成 27 年 10 月 1 日からで、平成 28 年 9 月 30 日まで 1 年間の運行をしておらず、夏場を含め 1 年間を通した実績を検証してから検討させていただきたい。

3. 乗降地について

- 乗降地を増設できないか

○事務局の考え

本格運行利用登録者アンケート調査結果で、福祉センターを乗降地としてほしいという意見が比較的多いが、公民館を乗降地に設定しているところであり、福祉センターを乗降地としないことをご理解いただきたい。

また、新たに乗降地を増設すると、自宅から乗降地まで 30 分の運行であるため、エリアや経路の見直しにも関係する。特定箇所の乗降地増設要望が多くあれば検討するが、乗合タクシーはジャンボ型車両であるため、停車スペースや小回りが利かない問題等を考慮しなければならず、乗降地の増設は難しいと考える。

4. エリアについて

■エリアの見直しができないか

○事務局の考え

南エリアの見直しは、平成27年10月1日から平成28年9月30日までの1年間を通じた実績を検証し、利用者への周知や経路の見直し等を含め、慎重に検討させていただきたい。

南エリアが30分で運行できない問題は、9名以内の予約であっても、ジャンボ型車両1台で30分の運行ができないと考えられる場合に、セダン型車両を増便し、自宅から乗降地まで30分で運行するよう改善する。

5. 運賃について

■運賃を300円に統一できないか

○事務局の考え

運賃は受益者負担を考慮して、500円と300円の区分を設定したところである。運賃の変更は、受益者負担のあり方や他の公共交通機関との整合といった制度の根本に係わるものであり、変更した場合の市の負担額への影響や利用者増減の予測など慎重な検討を要するので、当面は現行のままをしたい。

砂川市予約型乗合タクシー運行計画（案）

1. 運行計画

- 平成27年10月から平成28年3月までの本格運行を継続
 - 本格運行利用登録者アンケート調査結果
 - ・乗合タクシーの満足度は、各項目とも「満足」「やや満足」の割合が高い。
 - 実証調査運行結果と本格運行実績の比較
 - ・現段階では、概ね実証調査運行と同様の結果となっている。

2. 運行方法

- デマンド方式
 - 運行時間、運行便数は決めるが利用予約が無い場合は運行しない。
 - 目的地（乗降地）を設定して自宅と目的地間を運行する。
 - 運行経路は予約に応じて効率的な経路を設定する。

3. 事業形態

- 一般乗合旅客自動車運送事業
 - 運行事業者による乗合運行。
 - ・運行事業者が収益確保、経費削減、安全策等を講じながら自主運行する。
 - 国庫補助金（地域公共交通確保維持改善事業）を活用する。

4. 運行事業者

- 砂川市予約型乗合タクシー運行事業にかかる事業協定書
 - 第4条第2項
 - 翌年度以降については、協定期間満了の3ヶ月前までに解除又は変更の申し出がない限り1年間継続し、以後この例による。
 - 砂川北星ハイヤー株式会社 砂川市東1条南15丁目1番7号
 - ふじ観光株式会社 滝川市新町3丁目1番15号
 - 三星ハイヤー株式会社 滝川市流通団地2丁目3番18号

5. 利用対象者

- 全市民を対象に事前登録制
 - 事前登録受付は砂川市が行う。
 - 砂川市は運行事業者に対して登録者名簿を提供する。

6. 運行区域

■市内全域を3エリアに分けて、各エリア（自宅）から目的地間を運行する。

○北エリア①：一の沢地区・北光地区・焼山地区・晴見地区・三砂地区

○北エリア②：富平地区・空知太地区・袋地地区

○南エリア：宮城の沢地区・鶉地区・吉野地区・日の出地区・豊沼地区・宮川地区

○各エリアを1便（片道）30分で運行する。

○各エリアを運行する事業者は期間を定めてローリングして運行する。

7. 目的地（乗降地）

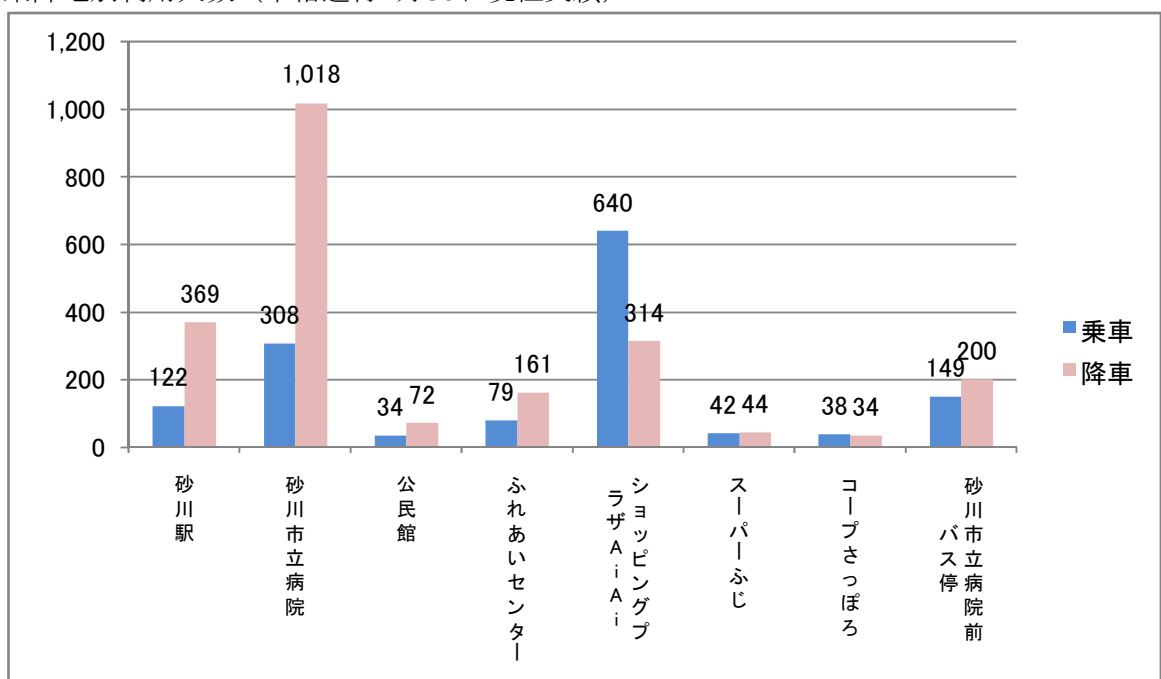
■公共施設・買物施設等8カ所を設定する

○ 1. 砂川駅 2. 砂川市立病院 3. 公民館 4. ふれあいセンター

5. ショッピングプラザAiAi 6. スーパーふじ 7. コープさっぽろ

8. 砂川市立病院前バス停

乗降地別利用人数（本格運行4月30日現在実績）



8. 運行車両

■ 10人乗りジャンボ型及びセダン型車両

○平日はジャンボ型車両で運行する。

- ・乗車定員は9名として、定員を超えた場合はセダン型車両を増便する。
- ・南エリアについては、ジャンボ型車両で30分の運行ができないと考えられる場合、乗車定員にかかわらずセダン型車両を増便し、30分で運行する。

○土曜日、日曜日、祝日はセダン型車両で運行する。

- ・セダン型車両は運行事業者で確保する。
- ・乗車定員は3名として、定員を超えた場合は増便する。

○車両台数は、増便及び故障等に備え予備車両として運行事業者が保有するジャンボ車両及びセダン型車両を確保する。

○車両の前面及び側面に「予約型乗合タクシー」であることがわかるように表示する。

9. 運行日及び運行時間

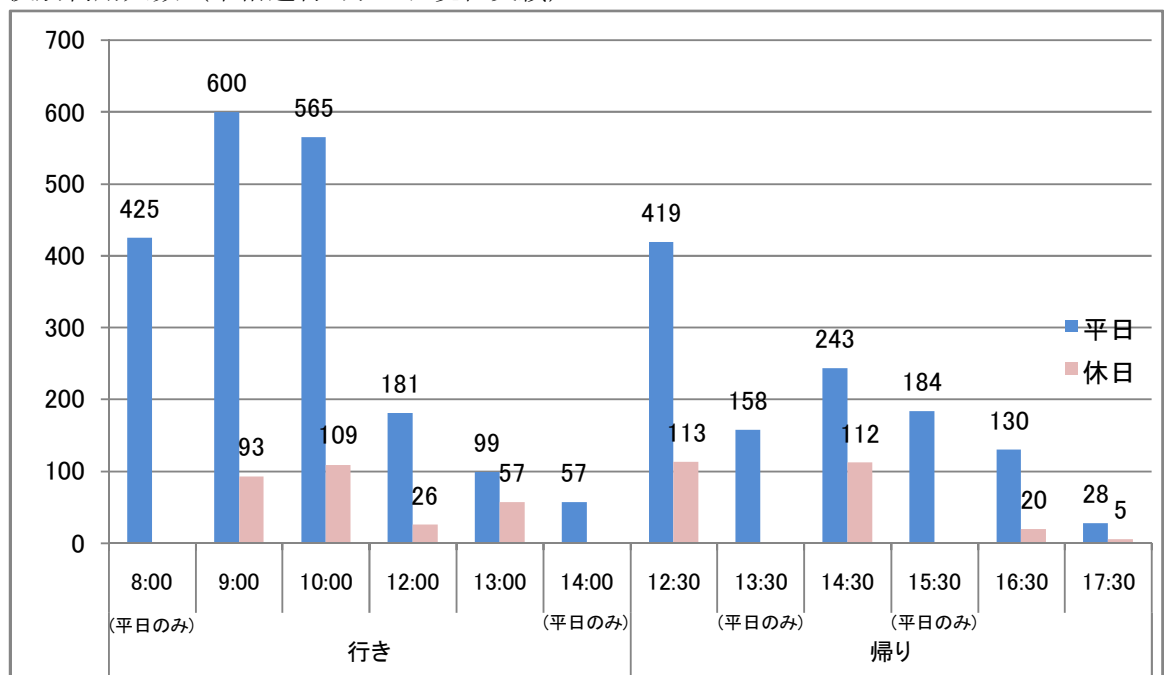
■運行日：毎日

■運行時間：平日[午前8時から午後5：30分の間で往復6便]

休日[午前9時から午後5：30分の間で往復4便]

		1便	2便	3便	4便	5便	6便
平日	行き	8:00	9:00	10:00	12:00	13:00	14:00
	帰り	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30	17:30
休日	行き	9:00	10:00	12:00	13:00		
	帰り	12:30	14:30	16:30	17:30		

便別利用人数（本格運行4月30日現在実績）



10. 運賃

■市街中心部からおおよそ4kmを基準に2段階で設定する。

- 4km以上：大人500円 中学生以下100円（一の沢・空知太・富平地区）
- 4km以内：大人300円 中学生以下100円（上記以外の地区）

11. 予約受付

■電話による予約受付

- 予約専用ダイヤルを設置し運行事業者のうち1社が取りまとめて行う。
- 受付時間：毎日8時から16時まで
- 受付締切時間：行き便→前日まで

12時以降の便については、当日の8時から10時まで
帰り便→利用便発時刻の1時間前まで

12. 運行事業費

■運行経費内容

- 1回当たりの運行経費はタクシーメーター料金の実績額
- 運行待機、準備に係る専用運転手人件費
- 予約受付に係る経費

【概算事業収支】

- ・平成28年10月～平成29年9月運行
- ・運行実績に基づき運行稼働率を30%として算出

項目	金額	内容
運賃収入	1,997千円	300円×5,875人×80%（4,700人）＝1,410千円 500円×5,875人×20%（1,175人）＝587千円
運行経費	11,656千円	運行経費 専用運転手人件費 予約受付経費
収支	▲9,659千円	国庫補助金4,525千円 市補助金5,134千円

※運行経費から運賃収入、国庫補助金を除いた額を市が運行事業者に補助する。

- ・国庫補助金名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
- ・国庫補助額：補助対象経費の1/2の合計と国庫補助上限額を比べて少ない額
北エリア① 1,510千円、北エリア② 1,511千円、南エリア 1,504千円
合計 4,525千円
国庫補助上限額 5,358千円